

原子力の自主的安全性向上に関するワーキンググループの設置について

平成25年7月
資源エネルギー庁

- 原子力の安全性については、原子力規制委員会の専門的で科学的な判断に委ねられるべきもの。同時に、事業者が、安全確保の一義的責任を負い、常に規制以上の安全レベルの達成を目指すことは当然。
- 東京電力福島第一原子力発電所事故を経験した我が国は、規制水準さえ満たせば原発のリスクがないとする「安全神話」と決別し、産業界の自主的かつ継続的な安全性向上により、世界最高水準の安全性を不断に追求していくという新たな高みを目指すことが重要。
- そのため、原子力規制委員会の設置、新たな規制基準の施行、原子力防災会議の設置等の制度的な対応とは別に、産業界の意識改革や自主的対策として解決すべき課題を明らかにしていくことが必要。
- 以上を踏まえ、原子力事業について、産業界が自主的に安全性を向上していく取組みの在り方について検討を行うため、総合エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 原子力小委員会の下に「原子力の自主的安全性向上に関するワーキンググループ」を設置する。

総合資源エネルギー調査会の全体像

総合資源エネルギー調査会

会長： 三村明夫 新日鉄住金相談役

基本政策分科会

会長： 三村明夫 新日鉄住金相談役

東日本大震災、東電福島事故等を踏まえたエネルギー基本計画の見直しを行うべく、エネルギー政策全般について検討を行う。年内のとりまとめを想定。

省エネルギー・新エネルギー分科会

資源・燃料分科会

電力・ガス事業分科会

原子力小委員会

委員長： 田中知 東京大学教授

放射性廃棄物WG

座長： 増田寛也 野村総合研究所顧問
／東京大学公共政策大学院客員教授

使用済核燃料等の放射性廃棄物の最終処分の取組について、これまでの取組状況や原子力委員会提言等を踏まえ、必要な見直しを行う。

原子力の自主的安全性向上WG

座長： 安井至 独立行政法人
製品評価技術基盤機構